

時短協議会に運賃WG

國交省

国土交通省は27日おこなった「トライックの取扱環境・労働時間改善中央協議会」で、適正運賃収支をメインテーマとする「ワーキンググループ（WG）」を設置する方針を固めた。委員の入選を進め、6月下旬を目標で初会合を開く。トライック運送業界では、適正な運賃の目安を幅広い示すよう求めの声が強いか、トライックの場合、国が目安を示すことは、独占禁止法上困難といわれている。したがってWGでは、荷役料金の明確化や、安全アス

荷役料金など明確化も

国土交通省は27日までに、トライックの取扱環境・労働時間改善中止協議会で、適正運賃収取をスパンツーマードのワーキンググループ(WG)を設置する方針を固めた。委員の入選を進める、GWで同会を開き、トライック運送業界では、適正な運賃の回復を図ることとする。トライックの場合は、国が自歎を示すことは、独占禁止法上困難とみられている。このためWGでは、荷役料金の明確化や、安全マハの明確化などが焦点となるそうだ。

来月下旬にも設置

上卷

運賃に関するWGが
今年2月の取扱環境・労
働時間改善中央協議会
で、全日本ソフテック協会
の坂本克己副会長が設置
を要請して以降、このワーキングでは
ソフテック事業部に基づく
標準運賃の設定をめぐらしく

上記の運賃改定事業の長時間労働改善は、そもそも月60時間を超える職業に対する割増賃金率が25%から50%に引き上げられることにきっかけでの坂本亮吉副会長が設置り、従業員の待遇改善」を要請していく。運賃に関するWGは、今年2月の取引環境・労働時間改定中央協議会で、全日本トラック協会は、運賃問題は、年1回のワーキングクルーズが実現され、議論された経験がある。このワーキングクルーズは、トラック事業法に基づいて標準運賃の設定や最低賃金の設定などについても論じたが、法定標準運賃は効率要件が厳しいことによる。このため、同協議会では労働時間と並んで、運賃問題を主要議題としている。

か「一遍手の請け渡しを守されなかつたので、標準運賃に実効性があるのか」「実勢運賃に与える影響をどう考へるか」といった論点が示され、運賃の考え方や原価が多様化していることを踏まえると、標準的な運賃・原価を示すことは困難との結論に至った。その結果、原価計算の普及・浸透を図るために運賃等を契約書面の準用で、来年3月の準用で「18歳で取得できるため、若い人によく聞く表現」による若年運賃を認可許施行による若年運賃を認可するが、自動車局長は27日の定例会見で、「18歳で取得できるため、若い人によく聞く表現」による若年運賃を認可する。



藤井局長

待遇改善 評議事項とするなどして、
めて書面化を推進する。

待遇改善も必要に

国土交通省の藤井直樹
自動車局長は27日の定例
会見で、来年の頭の運転
に向けた制度の周知を要
請した。>述べたほか、

空免許施行による老年運転者の雇用促進について、「18歳で取得できるため、若い人にトラック業界に入つてもむづい」と効果はあると思う。3月

九

ととなつた。
安全コスト明確化も
今年2月の中央協議会
では、全ト協の坂本副会
長が、「バスなどの運送費
の上限は消費者の利権を
確保するため、下限は公
正競争や運転者の生活を
担保するものである。ま
じめなトップ事業者が
世間並みの賃金を払えな
い点が問題で、国がガイ
ドラインを作るべきだ」と
述べ、トラックにも運
るかについて協議を深め
質の自安を示すべきと主
張していた。
また、交通労連の山口
浩一委員長も「堅井沢バ
ス事故では、下限割れの
ことで、料金を收受
運賃が問題になつた。幅
の中に収まれば安らぐ
ものを作り、罰則も検
討すべきだ」と述べ、運
輸労連の難波淳介委員長
は「安全運行のためにど
うか」と述べた。
坂本副会長はまだ「手
續み手御しの荷役はサー
vice」として、料金を收受
できないなどとも述べ
ていた。新たに設置する
オートマチック車の導入
を運転環境を改善する
必要もある。この業界も
示していた。
若年者確保に取り組んで
いるが、運転者が不足する
と物流に大きな支障が生
じるので、方策を充実さ
せねばならない」と述べ
た。
WGTでは、荷役料金の明
確化などが議論の俎上にの
った。堅井沢スキーバス事故
を受けた、貨物バスの安
全对策強化を内容とする
道路運送法の改正につい

ドライバーを作らるべきだ」と述べ、ドライバーにも運賃の目安を示すべきと主張していた。また、交通労連の山口浩一委員長は「軒井沢バス事故では、下限割れの問題が問題となっていた。幅の中に収まれば自らの手で運営を始めることもできるが、運転者が不足する場合、手間をかけた荷役はデータの物流に大きな支障がある」と述べた。坂本副会長はまた、「手間をかけた荷役はデータの物流に大きな支障がある」と述べた。若年者確保を取り組んでいた。新設するWGTは、荷役料金の明確化などが議論の俎上にならなかった。軒井沢スキーバス事故を受けた、貸切バスの安全性強化を内容とする全対策強化案が審議される予定だった。

藤井局長はめいに「働く場所がない」と苦情を述べた。中越輸送の導入や適正運賃や付帯料金を収分配するなどが大事だ。きやすい職場づくりも大事だ。

「魅力ある職場とするためには、給与の面もあるので、トップ会社どおりでもいい、労働者としての目安を示すべきだ」と述べ、運賃の目安を示すべきと主張していた。また、交通労連の山口浩一委員長は「軒井沢バス事故では、下限割れの問題が問題となっていた。幅の中に収まれば自らの手で運営を始めることもできるが、運転者が不足する場合、手間をかけた荷役はデータの物流に大きな支障がある」と述べた。坂本副会長はまた、「手間をかけた荷役はデータの物流に大きな支障がある」と述べた。若年者確保を取り組んでいた。新設するWGTは、荷役料金の明確化などが議論の俎上にならなかった。軒井沢スキーバス事故を受けた、貸切バスの安全性強化を内容とする全対策強化案が審議される予定だった。

平成28年5月30日付け、日本流通経済新聞